

野の花だより

～小豆島日帰り旅行(10/10、15、17)～



～秋のパンまつり(10/4、5)～

10月4、5日に「秋のパンまつり」を開催しました。天気はあいにくの雨…。しかし雨にも関わらず多くのお客様にお越しいただきました。ありがとうございました。パンまつりも地域恒例行事となりました。これからもよろしくお願いします。



～H・Kさんの感想～

パンまつりはたくさんの方が来ました。僕の担当はジュースを売る人でした。あいにくの雨の中でやっこや獅子を観ました。とても素晴らしかったです。



「ルーオピニオン」

皆さんはアニマルセラピーを知っていますか？アニマルセラピーとは動物と触れ合うことでその人に内在するストレスを軽減させたり、あるいは当人に自信を持たせたりといったことを通じて精神的な健康を回復させることができると考えられています。医療従事者が治療の補助として用いる動物介在療法（Animal Assisted Therapy；AAT）と、動物との触れ合いを通じた生活の質の向上を目的とする動物介在活動（Animal Assisted Activity；AAA）に分類されています。香川県さぬき市ではイルカを使ったアニマルセラピーが行われています。NPO法人「日本ドルフィンセラピー協会」が主体となって運営しており、イルカとの触れ合い体験、ドルフィンスイム、えさやり等のプログラムなどがあります。イルカと一緒に泳ぐことで自閉症などの発達支援を行うドルフィンセラピー活動に注目が集まっています。その他にも犬を使ったドッグセラピー、馬を使った乗馬セラピーなどがあります。香川県にもアニマルセラピーがどんどんと普及していけばと思います。

大西ひかる

研修に行ってきました！

10月12日（土）福山市での手をつなぐ育成会、中・四国ブロック大会に参加しました。大会テーマは「幸せに生きる」でした。感じた事は多々ありますが、なかでも実際に障がいをもつ子どもを育てる保護者の方から日々の悩み、行政に対する思い、施設を利用する支援員に対する思いを中心に話を聴きました。支援員に対する思いは保護者の方も様々だと思います。私自身日々の業務に追われその思いに気づくことができず見逃してきたかもしれません。支援者の立場として思いに気づけないことは、本人、保護者の方の「幸せ」につながる可能性を私がつぶしているかもしれないと反省しています。実際に保護者の方からお話を聞いた事は、貴重な体験であり、自分自身を見つめ直すきっかけとなりました。私自身これから利用者の方、保護者を含め「幸せ」につながる支援というのを考え実行していきたいと思っています。

松下 冬樹

新しいパートさん！吉村 廣文さん

はじめまして、野の花のみなさんと一緒に時間を過ごすことになりました、吉村です。髭を伸ばし始めてから30年位になります。今では、頭も髭も白くなり、孫も3人います。髭ジイです。でも週に1～2回程、インディアカというスポーツで汗を流しています。健康にもいいのではともう長年続けています。野の花には週に3～4日ですが、明るさと図々しさで頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。



ご厚志ありがとうございます

(有) 建石石油様・シコク環境ビジネス(株)様・(株) 郡家工務店様・とまと園様・ふじみ園様・丸亀市交通安全協会飯山支部様・碧空会様・元気会様・もえぎの会様・さぬき組様・大西ファミリーバンド様・入谷真司様・TSプロジェクト様・ピーチボーイズ様・綾歌ギタークラブ様・T,セイジ様・尽誠学園高等学校応援部様・三原繁子様・宮田香代子様・白石千絵様・長田あけみ様・小笹寛様・近石清一朗様・米田晴彦様・宮崎勉様・香川芳文様・新田真知子様・宮家博文様・三谷正様・滝典代様・篠塚昌枝様・千田允子様・山下瑞穂様・美馬貞子様・牛川和典様・幸せの黄色いレシートキャンペーン様・共同募金会様（手洗い場リフォーム工事代 184,000 円、野の花保護者会も日帰り旅行代として 231,000 円いただきました。）

就労移行支援事業



今年もハローワーク主催の、障がい者就職面接会が行われました。多くの求職者が参加し、応募した企業に対し懸命にアピールする姿が見られ、会場は緊張感が張り詰めていました。

志望する際に、「有名な会社だから」、「給料が高いから」、「家から近いから」と、一定の条件で会社を選んでしまうと、モチベーションにはつながりますが、定着して長続きしていくとなるとなかなかうまくいかないことがあります。

「仕事内容は合っているか?」、「無理なく通勤できるか?」、「勤務時間はできる範囲か?」は重要です。

参加企業も例年通り多かったですが、マッチング(適性、仕事内容、勤務時間、通勤距離等)の面から、応募できる企業は限られました。

また、今回の面接会では、野の花のような就労支援事業所や「就業・生活支援センターくばら」、「障害者職業センター」といった、「支援機関の支援(面接の同行、職場実習、定着支援)が必要」といった声が会社から聞かれました。支援機関の存在が広まってきているのは喜ばしいと感じましたが、支援機関に対する期待の大きさとともに、責任がより大きくなってきていることを痛感しました。さらに関係機関と連携し、より充実した支援をしていく必要性を改めて感じた面接会でした。



就労継続支援B型



継続B型は、毎日みんな元気いっぱい！作業に取り組んでいます。

いつもいつも仕事っていうのもしんどい…というもあるので、息抜きとして月に1回余暇活動を行なっています。カラオケやスポーツ、おやつ作りなど、その月によって活動内容を決め、

みなさんに参加希望を募って行なっています。

ちなみに8月はおやつ作りで杏仁豆腐を作りました。9月は体育館を借りて、卓球やバドミントンなどで体を動かしました。10月はカラオケをしました。みなさん、楽しんでいました。

余暇活動などは、普段の作業とは違った利用者さんの様子を知ることができます。走るのが得意なんやな、こんな歌が好きなんやな、器用に混ぜたりするな、などなど新しい発見があります。こういった活動は、利用者さんもいろいろなことを体験する機会にもなりますし、職員も利用者さんのことをもっと知る機会になるので、今後もいろいろな企画を考えていきたいと思っています。



生活介護事業♪海岸散策

まだまだ暑かった9月に海岸散策の外出にグループごとに出かけてきました！！場所は仁尾町の父母ヶ浜海岸。昼食は仁尾町の名物たこ判を買ってから行きました。海に出かけて何をするわけでもなく、到着してすぐにたこ判を食べ、記念撮影をして、海って大きいね！キラキラしてるね！！などと会話を楽しむという外出。結果的にそういう外出になっただけだけど、でもなぜか「し・あ・わ・せ」を感じられます。そんな一瞬が職員の私にとっても幸せで、笑顔をもらえます。大きな変化や、大きな出来事、行事ではなくても、すぐに取り掛かれる小さな行事で少しでもみんなに喜んでもらえるような活動を重ねていきたいと思っています。



パン工房

パン工房の利用者の作業を一部紹介したいと思います。



細かい作業は別にして、まず帽子パンの上にかかっている甘い部分(4同割と言います)。材料は(砂糖、マーガリン、卵、薄力粉)この4種類を同じ量を入れ混ぜ合わせて行きます。いつもN・Hさんが担当してやっています。

次に、パンの職員がこね上げた生地を丸める作業があります。6月ぐらいからパン工房に入っているY・Tさんが丸めをします。最初は出来なくて、イライラしたりしていたけれど、最近では上手に丸めが出来るようになりました。本人も自信がついてきたようで、楽しんで取り組んでいる様子がうかがえます。

次に人気商品の一つ「かりんとう」を切る作業があります。かりんとう専用の生地を5ミリ程の厚さに包丁で切っていきます。包丁を使う作業なので、最初は危なげだったのですが、みんな気をつけて切っています。

ほんの一部ですが簡単に紹介させていただきました。パンの職員は、利用者みんなに楽しんで仕事ができるようこれからも指導していき、よりおいしいパンが作れるよう頑張っていきたいです。

